

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		公表日				
みゆーくる		2026年 8月 20日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	☐			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	☐			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	☐		それぞれの特性に応じて工夫している	子どもによってはもう少し構造化が必要な場合もある/鍵に手が届く子がかつてに鍵を開け倉庫に入ってしまうことがあるため、もう工夫が必要か
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	☐			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	☐			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	☐			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐			全体でざくばらんに話をする機会があると良いと思う
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	☐			
適切	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	☐			
	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	☐			
	12	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	☐			
	13	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	☐			
	14	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	☐			
	15	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	☐		立案の段階で出勤していない職員がいる場合は一部の職員で行い、後から共有している	

な 支 援 の 提 供	16	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	17	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	18	支援開始前には職員間で打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			支援内容は共有しているが役割分担については曖昧なことがある
	19	職員間で、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			振り返りの時間がもっと作れると良い
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		職員間で協力をして、記録をとることが徹底されている	
	21	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	22	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		常に組み合わせた支援内容が考えられている	
	23	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		やりたいことを聞く機会を設けたり、少しずつ工夫している	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	27	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者の同意を得た上で情報共有や相互理解に努めている	
	28	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	29	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			何らかの形でもっと交流する機会があればと思う
	30	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	31	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	32	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ペアレントトレーニングなどの機会を設けられると良い
	33	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	34	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	35	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	☐			
	36	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	☐			
	37	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	☐		父母の会はないが、保護者交流会は計画的に進めている	何らかの形で交流の機会をつくれるといい
	38	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に適切に対応しているか。	☐			
	39	HPやSNS、LINE等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	☐			もっと情報を伝えられるといい
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	☐			
	41	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	☐		日々改善されている	もっと勉強していく必要があることもある
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	☐			
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	☐			
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	☐			
	45	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	☐			
	46	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	☐			
	47	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	☐		入職時と年に1回以上の研修機会を設けている	
	48	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	☐			